

## 環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 12

当社のパッケージはお客様の、そして社会全体の環境対応に貢献します。

昨今、海洋プラスチック問題など環境への意識が高まってきていますが、当社はリデュース（使用量を減らす）、リサイクル（再利用する）、リユース（再利用する）に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介いたします。

## フジシールグループ ソフトパウチ・タックラベル 製造時のリサイクルについて

### 複合素材プラスチック等 難リサイクル素材の 再利用技術の開発、及び、社会実装への挑戦

株式会社フジシールインターナショナル（以下、フジシール）と城東テクノ株式会社（以下、城東テクノ）、株式会社G-PLACE（以下、G-Place）は現在リサイクルが困難とされている複合プラスチック素材のリサイクル技術の開発および社会実装に向けたプロジェクトを3社合同で行います。

#### ■ 背景

脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環の仕組みづくりと社会実装化は、世界共通の環境課題です。容器包装においては、機能付加の観点で複合素材が長く用いられており、自社、あるいは、業界内といった限定された範囲で再利用を検討した場合、再資源化の実現は非常に困難であり、現時点では、サーマルリサイクルあるいは廃棄処理をするしか方法がありません。

#### ■ 取り組み概要

本プロジェクトでは、以下の2つのポイントを押さえ、循環型システムを構築すべく、異業種3社でアライアンスを結び、プラスチック資源の再利用の可能性を検討していきます。

##### ①再生資源として「使える原料」を製造する技術

##### ②再生原料が利用される「道筋」を作る

具体的には、第一段階としてフジシールの「容器包装」製造プロセスで発生する廃棄物を再資源化し、城東テクノ社が製造する「住宅用資材」の原料の一部として活用することを企画しています。次に、これらの取り組みを通じて、難リサイクル素材の再生・再使用技術の開発や、よりリサイクルに適した容器包装の開発を進めていくと同時に、その他使用先の模索も併せて行い、より幅広い社会実装を目指します。また、フジシール、城東テクノ、G-PlaceはCLOMA（クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス）<sup>\*1</sup>にも参画しており、さらなる業界間の連携も併せて進めることで、様々なステークホルダーや関係会社を巻き込んだ循環型リサイクルシステムの構築を目指します。

<sup>\*1</sup> 地球環境の新たな課題である海洋プラスチックごみ問題の解決に向けて、業種を超えた幅広い関係者の連携を強め、イノベーションを加速するためのプラットフォーム

環境レポート

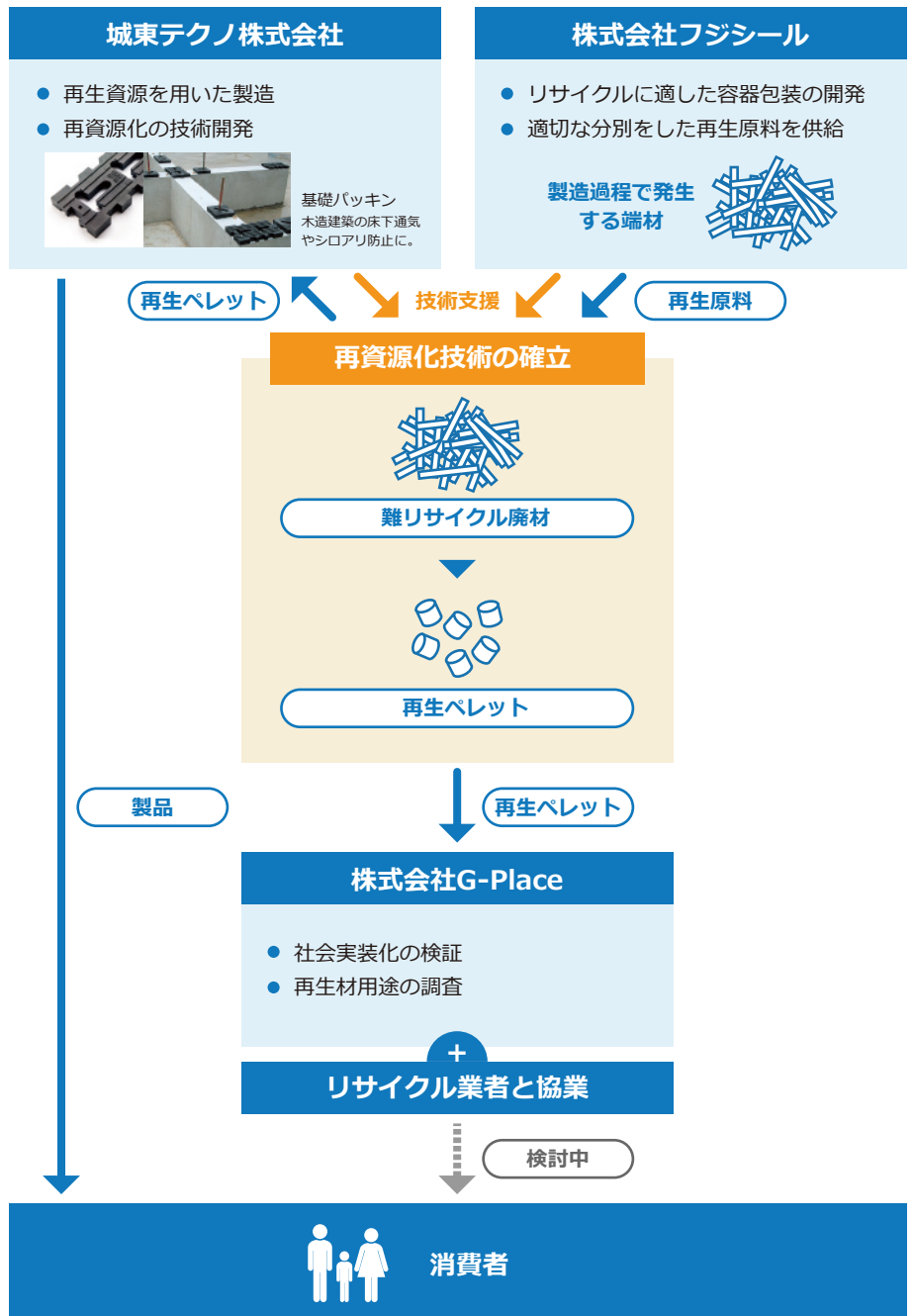
ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 12

当社のパッケージはお客様の、そして社会全体の環境対応に貢献します。

昨今、海洋プラスチック問題など環境への意識が高まってきていますが、当社はリデュース（使用量を減らす）、リサイクル（再利用する）、リユース（再利用する）に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介いたします。

■ 目標とする循環サイクル



**城東テクノ株式会社**

- 再生資源を用いた製造
- 再資源化の技術開発

基礎パッキン  
木造建築の床下通気  
やシロアリ防止に。

**株式会社フジシール**

- リサイクルに適した容器包装の開発
- 適切な分別をした再生原料を供給

製造過程で発生  
する端材

# 環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 12

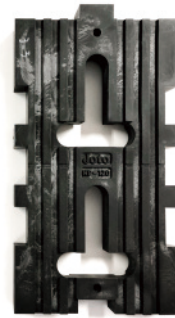
当社のパッケージはお客様の、そして社会全体の環境対応に貢献します。

昨今、海洋プラスチック問題など環境への意識が高まってきていますが、当社はリデュース（使用量を減らす）、リサイクル（再利用する）、リユース（再利用する）に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介いたします。

## ■ 参考資料



通常製品



試作品

課題把握のために作成した、フジシールのパウチの製造プロセスから発生した廃材を城東テクノにて試験的に再資源化した材料を一部使用したキノパッキン<sup>※2</sup>試作品。

数十年規模の長期使用を見据えた物性向上が必要となります。

※2 〈キノパッキン〉基礎土台間の全周換気システムである『Jotoキノパッキング工法』で使用する部材。長期保証制度もあり、長く使用される。